



記者発表資料

常総国道事務所発注工事において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積活用方式」、「材料単価の公表」を試行します。併せて「難工事指定」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する下記対象工事、以下について試行・採用します。

【対象工事 ※工事の内容については、別添の工事概要を参照して下さい。】

- 1. R3東関東道茂木地区跨道橋下部工事とうかんどうもとぎちく こだうきょうかぶこうじ（公告日12/9）：不調・不落対策等①、②、④
- 2. R3東関東道清水地区跨道橋下部工事とうかんどうきよみずちく こだうきょうかぶこうじ（公告日12/9）：不調・不落対策等①、②、③、④

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」
競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」
本工事の地域において、実勢価格の変化が想定されるため、入札者から見積を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

③「材料単価の公表」
事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

④「難工事指定」
本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ
問い合わせ先
国土交通省関東地方整備局常総国道事務所 電話029-826-2040 (代表) 副所長(技) <small>きむら よしお</small> 木村 佳夫 工務課長 <small>たかはし つとむ</small> 高橋 勉

1. R3 東関道茂木地区跨道橋下部工事

《工事概要》

いばらきけん いたこし もとぎ ちさき

- (1) 工事場所：茨城県潮来市茂木地先
 (2) 工 期：契約の翌日から令和5年3月31日まで
 (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
 (4) 工事種別：一般土木工事C
 (5) 工事内容（概要）：

橋梁下部【県道繁昌潮来線跨道橋】		1 式
橋台工		2 基
既製杭工	A1: φ1,000 鋼管杭 杭長10.5m	8 本
	A2: φ1,000 鋼管杭 杭長11.0m	8 本
橋台躯体工		1 式
鉄筋	D13~D38	約69t
コンクリート		約540m ³
仮設工		1 式
土留・仮締切工		1 式

- (6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

- 見積の提出を求める工種
 - ・直接工事費のうち既製杭工

- 見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

④「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書の交付 : 令和3年12月 9日（木）
- 技術資料等の提出期限 : 令和3年12月23日（木）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和4年 1月31日（月）
- 開札日 : 令和4年 2月 3日（木）

2. R3 東関道清水地区跨道橋下部工事

《工事概要》

いばらきけん いたこし きよみず ちさき

- (1) 工事場所：茨城県潮来市清水地先
 (2) 工 期：契約の翌日から令和5年3月31日まで
 (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
 (4) 工事種別：一般土木工事C
 (5) 工事内容（概要）：

橋台下部【市道(牛)1-2号線跨道橋】		1 式
橋台工		2 基
既製杭工	A1: φ1,000 SC+PHC杭 杭長13.5m	6 本
	A2: φ1,000 SC+PHC杭 杭長13.5m	6 本
橋台躯体工		1 式
鉄筋	D13~D38	約32t
コンクリート		約290m ³
仮設工		1 式
土留・仮締切工		1 式
工事用道路		1 式

- (6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

- 見積の提出を求める工種
 - ・直接工事費のうち既製杭工

- 見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

③「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、既製杭の材料単価について公表を行います。

④「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書の交付 : 令和3年12月 9日（木）
- 技術資料等の提出期限 : 令和3年12月23日（木）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和4年 1月31日（月）
- 開札日 : 令和4年 2月 3日（木）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上